

教材教具および題材	学部	授業名 (主たる教科領域)	執筆者
あじさい	小	学級活動 5年 (図画工作)	高見智也 井本美加
<p><ねらい> ☆作り方に見通しをもって活動に取り組む。 ☆手元をよく見てクレヨンで描くことを楽しむ。※1 ☆葉や教師の見本をよく見て、葉脈(線)のイメージを持って描く。※2 ※1は発達年齢が～2歳の児童 ※2は発達段階の年齢が3～5歳の児童</p> <p><内容(作成方法・使用方法・工夫点など)> 1、紙皿にタンポでポンポンとして色(絵の具)を付ける。 ※筆で塗るより、タンポでポンポンとする方が模様のようにきれいだった。 2、スポンジに筆でボンドをつけて、紙皿(前時に色を塗ったもの)に貼る。 3、教師の見本を見たり、紫陽花の葉を見たりしながらクレヨンで葉っぱ型の画用紙に描く。 4、紫陽花のボンドが乾いてからのりで葉っぱを貼る(次時)。</p> <p><良かった点・改善点(児童生徒の反応を含め)> ・活動の最初に本物の紫陽花を見たことで、紫陽花のイメージを持って制作活動に取り組めた。 ・感触が課題になる児童も、スポンジの感触を楽しみながら取り組めた。 ・スポンジの色を何色か用意することで、自分の好きな色や配置を考えながら取り組める児童もいた。 ・葉にクレヨンで葉脈を描くときは、4歳ぐらいの発達の児童は、葉っぱを観察することで葉脈を書く活動に取り組めた。</p> <p><その他(材料、費用、購入先等)> スポンジ、紙皿、色画用紙 クレヨン、絵の具、ボンド、のり タンポ、筆、ボンドを入れる容器、絵の具を入れる容器</p>			